

## パブリック・コメント

### 「丸亀市人口ビジョン改定案・第3期丸亀市未来を築く総合戦略（案）」に関する意見

#### 1. パブリック・コメントの概要

意見提出期間 令和7年2月14日（金）～令和7年3月13日（木）

意見提出者数 2名（FAX、オンライン）

意見提出件数 4件

#### 2. 意見の概要と市の考え方

##### 【丸亀市人口ビジョン改定案】

No.	意見の概要	市の考え方
1	P19「人口減少によって想定される影響」の「1. 地域を支える担い手の減少により地域力が弱くなります。」が一番懸念されます。17 地域コミュニティへの抜本的支援策を講じる必要があります。	コミュニティ活動は、地域住民の暮らしをより豊かにするための重要な活動であると承知しています。 本市しましては、地域活力の維持に向け、地域の拠点施設であるコミュニティセンターの利用環境を整えるとともに、地域による主体的なまちづくり、市民協働の実現に向けた支援に引き続き取り組んでまいります。
2	P24「目指すべき将来の方向」の「1. 魅力ある仕事をつくる」において、南部地域での雇用を創出する土地利用のあり方、活用等が必要です。	魅力ある仕事をつくり、雇用を創出することは、経済活動を維持するために重要な要素の一つと考えています。 そこで、飯山等の南部地域における国道 438 号の延伸などを好機と捉え、企業立地の促進や創業支援、サテライトオフィス整備補助金などに継続して取り組み、雇用創出を後押ししていきます。

【第3期丸亀市未来を築く総合戦略（案）】

No.	意見の概要	市の考え方
1	<p>「教育環境の充実（教育支援の充実）」  「生活環境の充実（令和の時代に合った地域を支える組織の運営、生活環境の整備）」</p> <p>2020年の四国総人口と2025年の四国総人口を比較すると、現時点で香川県に暮らす人の人数以上の人口減少が四国4県の減少人数として予測されています。</p> <p>婚姻数は増えない、少子化も解消されないという前提での意見です。婚姻も子どもを産むかどうか個人の内自由、すでに昔より人口が減っていて身近で結婚を意識できる異性に出会う可能性も昔と比べると総数が減っている。今年産まれた子どもが結婚、出産するとして、+1を生み出すのは早くても20年ほど先の未来。小手先の施策で改善ができるような状況ではないという理由です。</p> <p>さて、その中で丸亀市の人口を維持しようと思えば他の地域から丸亀市へ引っ越してくる人を増加させるしかないと考えます。生まれ育った地域で結婚や子育てをとという考えではない人たちに、丸亀市を選んでもらう（他の地域よりも魅力的な施策）必要があります。</p> <p>若い世代、子育て世帯が丸亀市で子どもを育てたいと思うには「教育環境の充実」「生活環境の充実」が重要になります。</p> <p>幼少期丸亀市で育っても多くの場合、県外の進学先へ進み、そのまま香川県には戻らずという状況があると思います。それでも丸亀市で教育を受けたから、優秀な人材が育ったのだという情報が広まれば、次の子育て世代がまた丸亀市に集まります。</p> <p>待機児童がほぼ解消されている今、就学児を育てる層に向けて移住者を増やすことに力を入れてみてはどうでしょうか。</p>	<p>本市の婚姻数や出生数は減少傾向にあり、加えて、若者、特に女性の県外流出が顕著である中、若い世代や子育て世帯に丸亀市を選んでいただくことは、非常に重要と考えています。</p> <p>そこで、市独自の取組として、令和5年3月にモーターボート事業収益金を財源とする次世代育成基金を創設し、市立小中学校の学校給食費無償化や、18歳までのこども医療費助成の拡充のほか、若者の流出抑制とUターン促進を図る奨学金返還支援事業補助金など、積極的に施策を打ち出してきました。</p> <p>また、令和6年度から5年間を集中取組期間に位置づけ、学校・家庭・地域が連携した「人づくり石垣プロジェクト」を始動し、学力づくりや不登校対策など、本市の教育を取り巻く課題解決に向けた様々な取組を進め、まち全体でこどもを育てる環境を整えるため鋭意取り組んでいます。</p> <p>こうした取組もあり、県内他市町が概ね社会減となる中、本市は社会増の傾向を維持できているものと認識しています。本市としましては、教育をまちづくりの柱として、次代を担う人材の誕生や成長、活躍を継続して支援することで、選ばれるまちであり続けられるよう取り組んでまいります。</p> <p>一方、ご例示いただいた自治会やPTAにおいては、時代にそぐわないルールが今でも地域に残り、若者の定住の阻害につながっている可能性も否定することはできません。</p> <p>そこで、令和7年度に、本市のまちづくりの指針である第三次丸亀市総合計画を策定するにあたり、無作為抽出した市民を対象に、本市のまちづくりに対する評価や意見をお伺いするアンケート調査を実施いたします。</p> <p>このアンケートを通じて、地域における細かいニーズなどを収集し、次期計画や今後の施策の参考にさせていただくことで、より生活しやすい環境の実現につなげていきたいと考えています。</p>

No.	意見の概要	市の考え方
	<p>小学校は建て替えられた学校も増えており、温暖で災害も少ない地域ですので、教育支援に力を入れればと考えます。</p> <p>例えば、サンセバスチャンへ行ける生徒の枠を増やす。他の地域との留学できる提携を結ぶ。丸亀市の中学や高校が有名高校や大学との提携、留学制度の充実。東京に住む人との体験格差を埋めるために、東京への科学館や博物館などへ行くための旅費の一部の負担。できるかどうかは分かりませんが、こういった将来どこかで活躍できる人材を丸亀市が予算を出して育てて行くのだという気持ちで教育に力を入れていく必要があるのだと思います。</p> <p>人が増えれば産業が活発になり、新たな需要を生み出します。子どもたち向けの商業施設が増えるかもしれません。子どもを育てる環境として恵まれていると感じれば、2人目、3人目の子どもを産む家庭が増えるかもしれません。</p> <p>人口減少が進む中で、丸亀市が消滅可能性都市にならず、この地域を維持していくには、優れた教育環境及び、令和の時代に合った子育て世帯が生活しやすい生活環境を整えることが重要だと思います。</p> <p>例えば以前暮らしていた丸亀のとある地域では、引越し時点で自治会に入る必要があると言われ、地域の清掃活動に参加できない場合は罰金として自治会費とは別に費用を納めないといけないというルールがありました。</p> <p>とある丸亀の任意加入のはずのPTA組織では、保護者強制加入を続けないといけないとPTA会長さんが発言されていました。</p> <p>どちらも少し前の話のため今は改善されている可能性があります。仮に今もこの状況が続いているのであれば、このような環境が子育て世帯に受け入れられるとは思いませんし、逆に、改善できている地域に転出が増えていく原因になります。</p> <p>前にテレビ放送でインタビューに答えていた人が「東京が令和なら地方は江戸時代だ」と言われていました。改善している地域、自分たちに合った生活が</p>	

No.	意見の概要	市の考え方
	<p>できる地域に若い人は引っ越してしまいます。</p> <p>目に見えるところだけではなく、地域を支えている各団体が今の時代に合った対応が出来ているのか他の地域から引っ越しを考えたときに、ネックになってしまうような生活環境はないのかということも聞き取りまたはアンケート調査をして、丸亀市に住みたくないと思ってしまう運営をしている実態があるなら、直接指示はできないとしても、行政側から指針を出すなど、生活しやすい環境を整えていく必要があると考えます。</p>	
2	<p>「【基本目標4】住み続けたい地域をつくる」のうち、「基本施策⑩安全安心のまちづくり」の主な取組「持続可能な地域社会づくり」の4項目と、「基本施策⑫人が輝くまちづくり」の主な取組「学校教育の充実」の「学校施設の環境整備」及び「多様な人材の活躍推進」の「女性活躍の推進」についての進行管理で、重要業績評価指標（KPI）は公表されているが、進捗状況や取組の過程が理解できにくい。</p>	<p>ご意見いただいた基本施策の重要業績評価指標（KPI）の進行管理については、目標値に向けた進捗状況などをホームページで公表し、取組の成果を明らかにします。</p> <p>なお、第3期丸亀市未来を築く総合戦略は、令和7年度に策定を予定している第三次丸亀市総合計画にまとめることとしており、計画期間が終わる令和8年度以降においても、総合計画のPDCAサイクルに基づき、一体的に進行管理を行います。</p>